

## 商品券配布で支持率急落

## 石破政権、窮地に

政治アナリスト  
元杏林大学教授

豊島典雄

## 新人議員に10万円の商品券

7月の参院選を前にして永田町は石破降ろしと思われる動きが顕在化してきた。西田昌司参議院議員が首相交代を求め、コバホーク（小林鷹之衆院議員）も石破政権批判を展開している。石破茂首相は選挙の顔になるか、ということである。しかし、野党第一党の立憲民主党の野田佳彦代表は石破首相のほうが選挙はやりやすいと判断している。

石破政権が不人気なのは103万円の壁の引き上げ問題で中堅サラリーマンの期待に応えられず、高額療養費制度の負担上限額引き上げ問題で方針が二転三転、さらに新人議員15人に10万円の商品券配布し、庶民感覚との乖離が見えるからだ。石破首相は「会食のお土産がわり」「家族への労い」「法的に問題ない」と釈明した。

「歴代総理が慣例としてやってきた」（舞立参議院議員）ということも明らかになり、庶民の怒りに油を注いだ形だ。

猿は木から落ちても猿だが、代議士は選挙に落ちればただの人である。誰もただの人になりたくない。西田昌司参議院議員の発言は参院選立候補を予定する自民党候補者の共通の思いである。しかし、石破降ろしの大きなうねりはない。

## 国民感覚とずれ

私が13年間担当している東京FM系列のミュージックバードのニュース解説コーナーの『ナイトジャーナル』にも、石破首相を批判する多数のリスナーの声が寄せられた。

「法的に問題ないと言いますが、道義的には大問題では。現在までそういう議員をさんざん批判してきたクリンな人が何をやっているんでしょ。」

これだけ、政治と金の問題がクローズアップされる中、取り巻きに進言してくれる人はいなかったのでしょうか」

「3月の今は確定申告の季節である。庶民はカネの問題に敏感なんだ。

石破首相は空気が読めていない」

「お土産代わり？政治活動に無関係？商品券を受け取った議員は総裁選の1票を持っているのでは」

「石破首相のイメージが変わってしまいそうで、期待を裏切らないでほしいのになあ。10万円決して小さな金額ではありませんがね」

国民が政治と金の問題に敏感になっている時に、「国民の感覚とのずれ」（公明党代表）を感じ、怒っている。

石破首相に「慎重な配慮を」と諫めるすぐれた参謀がいらないのだ。

立憲民主党の野田代表は「簡単に首相退陣を求めない」と言った。夏の参院選を考えたら、この問題を引っ張って攻め続けた方が良く、と

いう判断である。石破さんと戦う方が有利だからだ。石破首相は随分と舐められたものである。

## 青木率は

内閣支持率と自民党支持率をあわせて50%を割ると政権が危険水域に入るといふ青木率（青木の法則）が知られているが、3月の朝日新聞、毎日新聞の世論調査では、50%を切った。

読売新聞社が3月14～16日に実施した全国世論調査で、石破内閣の支持率は、昨年10月の内閣発足以降最低の31%となり、前回調査（2月14～16日）の39%から8ポイント下落した。不支持率は58%で、前回調査より15ポイント上昇した。

政党支持率は自民党26%（前回26%）、国民民主党が12%（同8%）、立憲民主党が6%（8%）、日本維新の会が3%（同3%）、れいわ新選組3%（同4%）、公明党が2%（同

3%)などの順。

今年夏の参院選での比例選投票先を聞いたところ、1位は自民党の25%で、国民民主党の17%、立憲民主党の11%、日本維新の会の6%、れいわ新選組の5%、公明党の4%、共産党の3%。

毎日新聞が3月15、16日に実施した世論調査で、石破茂内閣の支持率は23%で、2月の前回調査(30%)から7ポイント下落。石破内閣の過去最低支持率(1月調査の28%)を更新した。不支持率も前回(54%)から10ポイント上昇の64%で、石破内閣では、最も高かった。首相が自民党衆院1期生との会食に際し、1人10万円分の商品券を配布したこと

を「問題だと思ふ」は78%。支持率が20%台にまで落ち込むのは石破内閣では初めて。調査手法が異なるため単純比較できないが、岸田文男前首相が総裁選不出馬を表明した2024年8月調査(23%)以来の低水準となった。

政党支持率は自民党19%、国民民主党16%、立憲民主党11%、日本維新の会4%。

また、今夏の参院選の比例代表で

どの政党に投票したいか聞いたところ、国民民主党が最多の17%で、自民党は16%だった。所得税がかかりはじめる年収103万円の壁の引き上げを巡り、与党と国民民主との交渉が決裂したことや、石破首相が自民の衆院1期生との会食に際し、1人10万円の商品券を配布した問題が影響した可能性がある。

立憲民主党は13%、れいわ新選組と日本維新の会は5%、公明党と共産党2%だった。

朝日新聞社(3月16日発表)では、石破内閣の支持率は26%で、前回2月調査の40%から大幅に下落し、昨年10月の内閣発足以降で最低となった。不支持率は59%(前回44%)だった。石破首相事務所の自民党国会議員15人への1人10万円相当の商品券配布問題については、「問題だ」が計75%。

内閣支持率は26%、自民党支持率23%。青木率は49%、危険水域に入った。

共同通信社(3月23日発表)では、石破内閣の支持率は2月の調査から12ポイント急落して27・6%で、内閣発足後、最も低かった。不支持率



商品券配布は問題だ

は16ポイント増の57・8%だった。

「商品券配布は問題だ」は71%。日本経済新聞(3月23日)では、内閣支持率35%(5ポイント下落)。

政権発足以降の最低。支持しないは7ポイント上昇の59%。

フジサンケイグループ(3月24日)では、内閣支持率30・4%、内閣発足以降の最低。自民党支持率は過去最低の20・8%。石破内閣は窮地にある。

### どうする自民党

4月から4170品目以上の食品が値上げになる。金利も上がり、住宅ローン金利が上がる。民の籠は楽ではない。

「大国を治めるには小鮮を煮るが如くす」(老子)。慎重な政治が必要だった。後悔先に立たず。石破首相

は「民の心」が読めなかった。

今は「森喜朗政権末期と同じ」と言われる。あの時は小泉純一郎が「自民党をぶっ壊す」と出てきたが、今は第2の小泉純一郎タイプは見当たらない。だから、自民党内でも石破降ろしは盛り上がらない。

「今のままいけば、誰が総裁でも参院選で自民党は負ける。石破首相を退陣させ、参院選前に総裁選をやっても、参院選後にまた交代になりかねない。誰がそんな貧乏くじを引くのか。」

「追い込まれても、衆院解散は無理。誰も石破首相と心中したくない。両院議員総会を開いて総裁を交代し、新しい総裁で臨みたいのが自民党議員の心理だ。しかし、石破首相の代わりはいない」(ベテラン議員)。

「経営者は人間学を学んだ一流の心理学者でなくてはいけない」(京セラの創業者 稲盛和夫)。

石破首相は、物価高の中、五公五民の『酷税』に呻吟する民の心が読めなかった。政治家も人間学を学んだ一流の心理学者でなくてはならない。しかし、石破首相を交代させても、これという人材がない。悩ましい場面である。どうする自民党?である。